

## 第1回人生支援計画 策定委員会 議事録

■日 時：平成29年7月10日 13:30～16:30

■場 所：ふれあいセンター 3階

■出席者：委員11名(欠席1名)

【行政委員】島村委員(市健康対策課)、関川委員(市福祉事務所)、田中委員(市生涯学習課)、  
宮崎委員(市高齢者介護課)、山下委員(市こども課)、岡林委員(市地域支援課)  
入野委員(市学校教育課) 代理 吉岡補佐7人

【傍 聴】1名

【事務局】地域支援課 近藤・本田

1. 市長挨拶、市長より委嘱状の受け渡し、委員自己紹介
2. 坂本委員長あいさつ
3. ①人生支援計画28年度のまとめについて事務局より説明  
②H28年度の実績+課題とH29年度に向けた取り組み(事務局による別冊2説明)

【質 疑】

○委員

9ページの78,79のH28実績が「未確定」となっているが、その理由は。

●島村委員(市健康対策課)

がん検診につきましては対象者の選定というところで、県が推定受診率を出しているのですが、それが大変遅れて出てくるので今の段階では市町村単独の受診率が出せません。おそらく秋頃には分かると思います。毎年この時期には受診率は出てきませんので一年遅れで見ていただければと思います。

---

○委員

64の乳がん検診についてですが、私自身2年に1度の検診に該当するのですが、昨年いつ頃に検診をしますかという手紙が来て5月か6月で希望を出しているのですが、その後何も書類が届かないのですがどうなっているのですか。

●島村委員(市健康対策課)

毎年検診の年間日程表を4月号広報に折り込みをさせていただいています。県下で検診の日程を調整する関係で、乳がん検診は1月2月しか実施していません。受診表を送る手前にご希望の受診日を送りますので、返信は秋以降になります。申し込みをいただいている方には1月2月の検診の手前に、お知らせの手紙を送らせていただいております。

---

○委員

7,21についてですが県下全体で子供の数がどんどん減ってきていると思うのですが、その中

で7,21の目標値が伸びていっているのですが、これは達成できるのだろうかという疑問に思いました。

●山下委員(市こども課)

人数の目標設定に対する達成が出来るかどうかという見直しはまだかけていませんが、子育て相談等の子育て支援に対するニーズは年々高まっているという認識は持っており、その意味で年々増えていくと予想した目標設定になっております。子供の数が減っていることとの分析は出来ておりません。数値は延べ人数でカウントしております。

●事務局 近藤

目標の取り方については、まち・ひと・しごと総合戦略の中にある人口ビジョンで設定している目標値との兼ね合いがあり、希望も込めた目標値となっています。

●田中委員(市生涯学習課)

21のスポーツ少年団についてですが、現在香南スポーツクラブに委託しておりますが魅力あるものがあれば団員数を増やせるのではと考えていますが、現状の数値の検証は出来ていない状況です。数値は会員数です。

---

○委員

幼稚園までのお子さんは何人いますか。

●山下委員(市こども課)

年間出生数が250名前後ですのでその6倍で1,500名前後と転入転出の増減が考えられます。

---

○委員

16のひとり親家庭医療費助成利用者数についてですが、目標設定がしにくいということでアスタリスクになっていますが、ひとり親家庭で医療費を払っている人と助成をもらっている人の数はつかめるのですか。

●事務局 近藤

調べてみます。

○委員

もし掴めるのであれば、数値を減らすという目標を設定してはどうかと思います。掴めないのであれば指標からはずしてはどうかと思います。

●事務局 近藤

H28年度から各課長の話し合いの中でサポート体制ということで議論をしていますので、、、。

○委員

ただ、指標を設置してその指標を達成しているかどうかで評価をするのであれば、指標を設定できないものについては評価のしようがないと思いますが、、。

●関川委員(市福祉事務所)

市民保険課でも掴んでいるとは思いますが、窓口で利用できる制度については一通り説明をす

るのでまず、未利用者というのはいないと思います。

○坂本委員長

こういうサポートがありますということを見せることが目的ということと、数値目標を掲げるべきものではないということが一つで、どちらかを取るのではなくて数値目標を掲げることは出来ないけれどもサポートはしていますということ出すためということですね。

●関川委員(市福祉事務所)

そうです。つまり、継続的な支援がありますというところが大事であるということですね。

○委員

助成に関して、所得制限はあるんですね。

●事務局 近藤

はい。配偶者のいない父または母と18歳未満の子ども(所得税非課税世帯または総所得が200万円以下)という制限があります。

○委員

わかりました。源泉徴収を自分で見て自分で申請しなければいけないということですね。

●関川委員(市福祉事務所)

窓口で説明はしますが、自分で見ていただかないといけません。

○委員

はい。通知等は来ないということですので、自分で動かなければ受けられる支援も受けられないということですね。

●関川委員(市福祉事務所)

申請をわかっている申請をしないと支給されませんので、。

●事務局 近藤

事業は申請に基づき助成するため、制度の周知を行うよう普及啓発に取り組む必要があるとし、H28に向けた去年の対策としては市のHP等で周知方法の検討をしていくと書いています。

●関川委員(市福祉事務所)

毎年、現況届を提出していただくのでそれで判断をしています。

---

○委員

先ほどの母子手帳についてですが、3の乳児家庭訪問回数が155で100%ということは去年は155人しか生まれていないということですか。

●島村委員(市健康対策課)

表現がわかりにくいですが、237人に対し368回なので1家につき平均で1.5回回っているということですね。

○委員

わかりました。

○坂本委員長

山崎さんがおっしゃりたかったのは237人全員に行けているのかということだと思いますが、。

●島村委員(市健康対策課)

4ヶ月まで里帰りされる方や長期入院されているがいらっしゃいますのでどうしても100%にはならないのが現状です。実際はほとんど100%訪問しております。

---

○委員

28,29の全国学力調査についてですが小学6年と中学3年の数値にあまりに差があるのですが、中学校の方に力を入れて学力を上げられるようにお願いします。

●吉岡委員(市学校教育課)

児童生徒の夢や役立ちの意識というところで、自分には良いところがあると思うという項目で「強い肯定」を載せさせていただいております。中学生は思春期でもあり、「どちらかといえば当たる」などを入れると数値は上がりますが、今回は強い肯定のみをあげさせていただいておりますので、このような数値になっております。

○坂本委員長

これは何の数字になるのでしょうか。

●吉岡委員(市学校教育課)

全国学力調査の中の、子ども自身が選ぶところがありまして、将来の夢や目標を持っているかという項目の回答について入れさせていただいております。

○坂本委員長

つまり、この数値は学力の数値ではないということでしょうか。

●吉岡委員(市学校教育課)

そうです。これは学力の数値ではありません。

●事務局 近藤

目標値についても一度学校教育課の方で確認をしていただきます。

---

○委員

59 空き家バンクについてですが、これは香南市内であればどんな家でも登録が出来るのでしょうか。

●事務局 近藤

住める家であれば登録は可能です。家の修繕に対しても補助金が出るようになっておりますので、建て替えた方が良いような家以外であれば登録可能です。

---

○委員

14,19の町民運動会についてどのように開催されているか詳しくご説明いただけないでしょうか。

●田中委員(市生涯学習課)

旧町村単位で声かけをさせていただいて年に1回開催をしております。

○委員

場所はどこですか。昔は今の野市小学校で大々的に行われておりましたが、、、

●事務局 近藤

現在、野市町は町民運動会という名前ではなく、スポーツレクリエーション大会という名前で部川のふれあい広場で開催されています。運動会は、各町村ごとに10月頃にやっております。野市のみが、20人程度でチームを組んで参加をさせていただいております。その申請は生涯学習課で受け付けています。保育所チームや自治会で参加していただいております。

●宮崎委員(市高齢者介護課)

集落によってはなかなか参加する人が集まらなかったり、世話役が大変ということで今の形になっております。

○委員

田園祭が一度なくなってみなこい祭りになって、今また田園祭が復活しているんですよね。なぜかと言うと、小学校の時に地区対抗リレーというのがあって、地域が団結してひとつになって大変盛り上がった記憶があり、地域が大きな塊になって野市が盛り上がってきたのではないかと思うので、それを取り戻したいなと思っております。

●事務局 近藤

現在まちづくりをしておりますが、自治会が上岡地区でも昨年出来ました。全体の自治会結成率は約87%になっています。野市でもスポーツレクリエーションということで種目は高齢者の方でも出来る簡単な競技が多く、景品がとても良いので自治会作りの時はお勧めしております。

○委員

たとえばそれを地区のチームで参加してもいいんですよね。

●事務局 近藤

もちろんです。

○委員

香我美町なんかは子どもが少ないのでやめようという声も出てきているので野市は子どもが多くて良いですね。最近半分近く自衛隊の方が参加してくださっています。

○坂本委員長

全国的に地域の活性の活性化ということで様々な取り組みをしていますが、人口の分布が変わってきていると言うことが一つと、新興住宅地の方は温度差があり、参加が促せないのでもまずは神社のお祭りからということで、新たなイベントを企画したり過去のお祭りが復活したりしております。

---

③重点施策について(事務局による説明)

- ・人口減少を考える部会について【資料4】

- ・空き家リフォーム補助金について【資料5】
- ・地域おこし協力隊 隊員募集について【資料6】
- ・結婚新生活支援事業について【資料7】
- ・不妊治療費の助成拡大について【資料8】
- ・こうなん健康チャレンジポイント事業について【資料9】
- ・香南市ファミリーサポートセンターについて【資料10】
- ・まかせて会員募集チラシ【資料11】
- ・総合子育て支援センターについて【資料12】
- ・香南っ子夢実現プロジェクトについて【資料13】

【質 疑】

○委員

こうなん健康チャレンジについてですが、パスポート取得の仕方がわかりにくいのですが、、、

●島村委員(市健康対策課)

2種類以上で3枚というのは県が決めていますので出来るだけ取得していただきたいということで、香南市では特定健診を受けていただいたら3ポイントをお渡ししておりますし、そのことをお知らせに入れております。当日にも会場に設けたコーナーで声がけをしております。

○委員

ポイント対象事業の子育て支援センター、育児学級というのは具体的にどのようなことですか。

●島村委員(市健康対策課)

健康に関する栄養士、保健師がいるようなイベントをした時に親御さんがもらえます。

○坂本委員長

そうすると、非常に若いお母さんだともらえないということなんですね。

●島村委員(市健康対策課)

はい。県のパスポートの取得条件が20歳以上ですので、そういうことになります。

---

○委員

野市町は学童が3つあるのですが、4つ目はないのでしょうか。

●山下委員(市こども課)

ニーズが高まっております、基準の範囲内で定員を超えた受け入れは行ってございまして、昨年第3を作り、やっと全体的な体制が整ったところでして、子どもが減っていくこと等も分析していかなければならないと思っております。ただ、第1、第2の施設が万全じゃないところもあるので施設整備を検討していきますが今の段階では計画はありません。

○委員

夏休み限定のものにもれてしまうんですね。近くにも友達がいないんですね。

●山下委員(市こども課)

そうですね。やはり、普段から利用している方が優先になりますね。

---

○委員

老々介護をしている方もたくさんおり、介護の負担が非常に大きい。人生の最後にこんなに苦勞するのかと思う。難しいとは思いますが介護高齢期の支援もしていただきたい。

○坂本委員長

高齢期の問題は各市町村でも様々な施策を考えているようです。香南市でも具体的にやっていないと、と思います。

●事務局 近藤

ちょうど、来年度から部会を立ち上げていく予定です。次回の会議では部会の構成についてご説明をさせていただく予定です。

4. その他

- ・今年度のスケジュールについて【資料14】(事務局より説明)